

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4572100842		
法人名	医療法人社団 慶城会		
事業所名	グループホーム 仰星台入綾		
所在地	宮崎県日向市東郷町山陰1494-1番地		
自己評価作成日	平成 22 年 8 月 29 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4572100842&amp;SCD=320">http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4572100842&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局		
所在地	宮崎県宮崎市和知川原1丁目101		
訪問調査日	平成 22 年 9 月 29 日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>生活に視点を置き家事、その他、残存能力を引き出す事を目的に職員全員で取り組んでいる。職員のレベルアップとして認知症について研修を受けるように計画し定例会で研修報告をしている。</p>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>山あいの、近くには行政関係や病院、学校、旅館等があり利便性に恵まれた場所にホームは立地している。地域社会との関係継続とふれあいを柱とした理念のもとに、近隣の人々が野菜を持って訪問したり、避難訓練に地区の消防団や地域の人々が参加する等地域との関係性を重視したサービスが実践されている。また、運営者は人材育成に力を入れ、職員を法人内外の研修に積極的に参加させ、資格取得を目指させる等職員の技能向上を支援している。利用者は職員の前向きな暖かいケアに支えられ表情が明るく元気に過ごしている。</p>
--

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員で話し合っって理念を作り事務所の壁に貼り1日1回は目を通し理念に沿ったケアができる様に心掛けています。	管理者を含め理念について職員全員で話し合い、地域の人々とのふれあいと利用者に寄り添うケアを重視した理念を作り上げ、その理念を全員が共有して実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の人に会った時にはまずこちらから挨拶をするように心掛けています。また地区の行事にはすすんで参加するように努めています。	地域の自治会に加入して地区の清掃や祭りへの参加、保育園児との交流等を積極的に行っている。また、近隣の人々が野菜を持って訪問したり、庭の草刈りをしてもらったりして日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の時に当理事長の院長に認知症について講演をお願いして運営推進委員の方に理解してもらえよう努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会にて当グループホームの現状等を報告して推進委員のかたより出された意見を後日討議して日々の介護に活かせるよう努めています。	運営推進会議は市の職員や消防団等が参加して2か月に1回開催している。会議では運営状況の報告や防災訓練、夕涼み会等の具体的な話し合いを行い、そこでの意見を運営に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市からの書類提出、介護保険等の相談を密にしています。	市の担当者とは、日頃から電話や訪問で運営状況の報告や介護保険の取扱いの相談等を気軽にできる関係を築いている。また、市が主催する研修会等には積極的に参加して交流を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は自由に利用者様が入り出できる様にしています。帰宅願望のある利用者様は「帰ってくるね」と出て行かれ「ただいま」と戻られます(見守り要) 外門は国道沿いで交通量が多い為利用者の安全を考え鍵をしている日が多いです。	見守りを重視した取り組みで、日中は玄関や居室には鍵をかけていない。国道沿いの外門は安全確保の観点から鍵をかけることがある。職員は身体拘束の弊害を充分理解している。	外門についても安全面を確保しながら、鍵をかけないケアの取り組みを重ねてほしい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県・市町村の主催する高齢者虐待防止関連の研修にすすんで参加し職員との勉強会で報告し少しでも理解できるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修には参加していますが、支援するまでにはまだまだ不十分です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は管理者が行い利用者及びその家族に説明を行い療養面、金銭面において納得を得た上で同意を得るようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者家族との交流会を設け各家族様より意見を出してもらって運営に反映しようとしています。	家族の来訪時に出来るだけ声をかけ、意見や不満を表せる雰囲気づくりに努めている。また、利用者や家族との交流会も検討している。	家族会を設け、意見や要望を引き出す工夫を検討し、それらの意見を運営に反映させる努力をしてほしい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の勉強会を実施して職員から意見を出してもらいグループホームの運営に反映させています。	毎月管理者も出席して勉強会を兼ねた職員会議を開き、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。そこでの意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が各自の立場、経験年数を配慮し進んで研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回他の施設との意見交換を目的とし管理者会議に参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様とのコミュニケーションを図るための声掛けを行い、興味のあることや訴えを本人が安心するまでゆっくりと聞くようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談等家族から受けた場合は、ゆっくり話を聞き事業所としてどのような対応ができるか説明し安心していただく努力をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人が何を希望しているか必要とするサービスを見極め対応できるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として教わる事も多く又そういう機会を多く行われるよう声掛けし配慮しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の入居時の生活を家族の方から聞いたりホームでの様子を面会時や請求書発送時最近の様子をお知らせしてホームでの様子を知っていただき一緒に支えていくようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との関係が途切れないよういつでも受け入れられるよう支援しています。又ドライブにて馴染みの場所に行ける様努めています。	馴染みの知人や友人が気軽に訪問してもらえるように、受け入れ態勢を整えている。また、地域との接点を持つために、近くの道の駅に買い物に出かけることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールに集まり洗濯物・新聞たたみなどを会話をしながらしています。利用者同士で多くの関わりあいができるようテーブルに座る場所を時々見直したりしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	系列病院に入院された場合は他の利用者様受診時に面会に行くように努めています。退居された家族の方に出会った時には職員より声をかける様にしています。又訪問時は快く受け入れています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族から情報を頂き本人様のこれまでの生活層を大切にして自宅での生活とより近い環境作りを心掛けています。食事時馴染みのある箸・お茶碗・湯呑を使われている方もおられます。	利用者の日々の行動や表情、会話等の中から希望や意向の把握に努めている。また、家族からの情報も活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中や家族の面会時などに尋ねたり努めています。サービス利用の経過記録も参考にして努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックを行い健康状態・心身状態を把握する。会話しながら新聞たみ等一緒に行えるよう支援しています。朝起床された方から食事をとられ本人のペースを大切にしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員・本人・家族との関係を密にし情報の交換を行えるよう支援しています。月に一度の勉強会を行いそれぞれ意見を出し合いその人に合った介護計画を作成できるよう努めています。	利用者や家族、関係者と充分話し合い、希望や意向を聞き、それぞれの気づきやアイデアを反映した利用者本位の介護計画を作成している。モニタリングを毎月行い、見直しも定期的実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践結果等を個別記録に記入し情報を共有し日々の介護の実践見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況・病院受診や買い物時その時々要望に応じ柔軟な支援をしたサービスの多機能性に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練・地域の祭りへの参加・保育園のお遊戯会観覧等に取り組んでいます。地域のスーパーにて買い物を楽しまれています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・家族等の希望を大切にし家族の協力を得ながらかかりつけ医の受診を支援しています。	これまでのかかりつけ医を基本としているが、ほとんどの利用者が母体の協力病院を受診している。毎月定期健診があり、緊急時の対応や気軽に相談が出来る体制が築かれている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が健康管理や状態の変化に対応しています。看護師がいない時は介護職員の記録をもとに主治医の指示を仰ぎ連絡をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院にお見舞いに行き回復状況に合わせてスムーズに対応しています。利用者様のご家族・本人と医療機関と施設が話し合います。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業者が対応し得る最大ケアについては説明を行っています。重度化に伴う同意書は作成しています。	重度化や終末期に向けた方針を作成して、利用開始時に利用者や家族に説明し同意を得ている。母体病院の協力もあって関係者全員の共有も出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変した場合はすぐに対応していただけるよう医師看護師とも連携を図り対応しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方々と消防の方との協力のもと定期的に避難訓練を行っています。緊急時マニュアルを作成しています。避難通路の確保確認も行います。	地域住民と消防団の協力を得て、夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。また、毎月防災機器の取扱いや緊急通報の確認等を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	中音で穏やかな口調で対応しています。なるべく名前をさんづけで呼ぶように心掛けていますが時々ちゃんづけで名前を言っている時もあります。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応がないよう細心の配慮をしている。また、職員は守秘義務について理解し、取扱いと管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が自分の意見を言えるような雰囲気作りをしています。和気あいあいな関係に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様が前夜に睡眠されていない時やその日その日のペースによって支援し気分よく過ごしてもらえるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容師の方にホームにきていただき支援している。本人や家族によって理容・美容院に連れて行くように努めています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が食事の準備をしてくれる時は見守りながら一緒にお手伝いをし、食べたいメニューを利用者様から言われるときは材料が揃っている時には作るようにしています。	利用者と職員が同じテーブルを囲んで、会話をしながら楽しく食事をしている。後片付けを手伝う利用者もいる。職員1人は同じものを食べているが、他は弁当を持参している。	食事が楽しいものになるように、食卓を囲んで、同じものを職員と一緒に味わいながら食べることが出来ないか、検討してほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のチェックを行っています。入浴の水分補給時はもちろん利用者様に声掛けをして食事の工夫や、その方の好きな飲み物を出しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後口腔ケアをしています。休まれる時は義歯をはずし水につけて保管しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(オムツ使用者)夜間パット確認・交換しています。トイレ誘導は早めの声掛けを行い、失禁をさけ、失禁があっても自尊心を傷付けないように速やかに対応しています。	排泄チェック表を利用し、利用者一人ひとりのパターンを把握してトイレで排泄が出来るよう支援している。おむつの使用を減らす努力もしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排尿排便チェック表にて利用者様の状態を把握しています。リハビリ体操を行い、身体を動かしていただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	声掛けして利用者様の意思にて入浴されるよう支援しています。タオルを渡し、自分で洗っていただいたりして自立支援を促すようにしています。	利用者の希望やタイミングに合わせて、毎日入浴ができるように支援している。入浴を拒む人には無理強いすることなく、一人ひとりの気持ちを第一に、くつろいだ気分で入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝は自ら起床されています。ホールで傾眠時は声掛けして自室に休んで頂いています。場合によってはクッション等を使い見守りしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は名前などの確認を行い、やさしく声掛けして服用して頂いています。また薬を嫌がる利用者様に対しても薬の説明を行い服薬を促しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞たたみ、洗濯物干し・たたみ、台ふき、茶碗洗いなど利用者様自ら手伝って頂くよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の出勤が多い日は出来るだけドライブや買い物に出かけています。又中庭や近くを散歩したりと屋外に出るよう心掛けています。	ホームの中庭や近くの堤防までの散歩、道の駅での買い物、ドライブ等、出来るだけ戸外に出かけられるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様方各自お小遣いを持って頂き、買いたい物を買っていただくよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から家族の方に電話したいと訴えがあったらいつでも対応して支援しています。又小包など届いたら利用者様本人が電話できるようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの飾り物をしたり行事の写真を壁に貼ったりして利用者様も家族の方も見られて喜ばれています。	共用の空間は、採光、温室管理、換気等に配慮されており、川沿いの堤防や山々が眺められ、ゆったりと過ごせるように工夫されている。リビングにはソファや小さなテーブルが置かれ、季節の花が飾られる等家庭的な雰囲気となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファ、小さなテーブルを置き、一人で過ごしたり仲の良い利用者様同志でつるげるスペースを作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた湯のみ茶碗箸などを持って来てもらっています。	居室には使い慣れた家具やソファ、写真、毎日使う湯のみや茶碗等が持ち込まれ、居心地よく生活できるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が出来る事はこちらから手を出さず見守っています。又居室の整理等利用者様がやっているときも見守っています。		